

病院整備計画申出者（法人名）医療法人社団埼玉巨樹の会

病院整備計画の概要書

1 病院の名称・所在地・所在二次保健医療圏

新久喜総合病院

埼玉県久喜市上早見418番地1

利根医療圏

2 開設者の名称・所在地

医療法人社団埼玉巨樹の会 理事長 蒲池 健一

埼玉県久喜市上早見418番地1

3 病院の現状

病床数

病床機能区分	病床種別	許可病床数	稼働病床数	非稼働病床数
高度急性期	一般病床	202床	202床	0床
回復期	一般病床	98床	98床	0床
計		300床	300床	0床

病床利用率（平均）

一般病床	療養病床	地域包括ケア 病床	回復期リハビリ テーション病床
95%	-	-	100%

4 開設等の目的、必要性

埼玉県利根医療圏において、高度急性期病床が不足し、医療圏外で入院される利根医療圏の住民の方が1日当たり高度急性期で141名、急性期で369名おられます（平成25年データ）。

今後、急激に高齢化がすすみます。他の医療圏へ移動し入院する選択肢のみではなく、医療圏内でも、がんや心血管疾患、脳卒中などの検査や手術といった高度医療を安心して地元で受けて頂けるよう、将来にわたり持続可能で質の高い医療体制を確保することが必要です。

当院では、2016年4月の新規開院以来、地元で、2次レベル以上の救急を受け入れる救急医療体制確立に取り組んできました。「断らない病院」を基本に、手術・検査等の高度医療の提供を行い、4大疾病（がん、心血管疾患、脳卒中、糖尿病）を中心に地域住民の方々の信頼を得るため職員一丸となって尽力してきました。

その結果、当医療圏では行われていなかった開心術も年間100例程度まで増加し、がんの手術も増加しております。地域の医師会の先生方からのご紹介が年間1万件に迫り、そのうち入院が約3000件に達し、紹介入院が入院全体の35～37%を占めております。

一方で、救急車受け入れにあたり、年間169日（H30年度）が病床利用率100%に近い状態で、平均在院日数10日以内でありつつも年の内約46%が受け入れを制限せざるを得ない状態となりました。また、1病床あたりの入院患者数は36名と全国TOPクラスの病床回転率ですが、病床確保が間に合わず救急患者及び地域からの紹介患者、一般患者を受け入れることが困難となりました。これらのことを踏まえ、高度急性期91床の増床を計画しており、将来的に地域医療を担う上で旧栗橋地区、鷲宮地区についても救急体制、病診連携体制を強化し久喜市を中心に利根医療圏全体の地域医療、救急医療の発展に貢献させていただきたいと考えています。

5 開設等の計画の具体的内容

(1) 整備する病床の機能・数 整備計画病床 91 床

医療機能*	病床機能区分	病床種別	入院基本料 特定入院料	病床数
がん医療、脳卒中医療、 心血管疾患医療、救急医療	高度急性期	一般	特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、急性期一般入院料1	91
計	—	—	—	91

* 回復期機能、がん医療、脳卒中医療、心血管疾患医療、救急医療、周産期医療、緩和ケア等整備する病床が担う医療機能を記載

病床数の根拠

高度急性期：91床

今後、当該保健医療圏に限らず高齢者の増加に伴い「がん」「脳卒中」「心血管疾患」を中心とした救急医療の需要の増加が見込まれます。また、疾患ごとの推計患者数（平成23年から平成37年比較）は、悪性新生物が21%増、虚血性心疾患が34%増、脳血管疾患が52%増となっております。さらに、本医療圏においては、高齢化に伴い、医療圏外に流出されている患者さんが、医療圏内での受療・入院を希望されることが推測されます。

現在、当院においては上記の疾患に対し高度急性期病床202床において100%に近い病床稼働率にて対応しています。今年度、上記疾患の各部門における常勤医師の増員、診療科の増加に伴い更なる入院患者及び救急患者の受け入れが可能であり、下記の増床により試算のとおり入院患者及び救急患者を受け入れ、質の高い医療を提供いたします。

*埼玉県地域医療構想資料

*日本医師会総合政策研究機構『地域の医療提供体制の現状と将来-都道府県別・二次医療圏別データ集-(2014年度版)』

<p>○がん医療…16床（平均在院日数＝10.8日）対象入院患者数：36人（月）</p> <p>※実績：新規入院患者平成30年実績（月平均78人）</p> <p>※泌尿器科医師、呼吸器外科医師、乳腺外科医師、外科医師、肝胆膵外科医師の確保、消化器外科新設により、がん医療拡充が可能となりました。</p> <p>○脳卒中医療…25床（平均在院日数＝19.4日）対象入院患者数：33人（月）</p> <p>※実績：新規入院患者平成30年実績（月平均51人）</p> <p>※脳神経外科常勤医師の増員により脳卒中医療の受入れ強化が可能となりました。</p> <p>○心血管疾患医療…30床（平均在院日数＝9.5日）対象入院患者数：82人（月）</p> <p>※実績：新規入院患者平成30年実績（月平均125人）</p> <p>※心臓血管外科常勤医師の増員より心血管疾患医療の受入れ強化が可能となりました。</p> <p>また、循環器内科医師との連携を強化しカテーテル検査から外科的手術までの体制を強化いたしました。</p> <p>○救急医療…20床（平均在院日数＝9.3日）対象入院患者数：56人（月）</p> <p>※実績：救急車搬入患者平成30年実績（月平均447人）</p> <p>※「がん」「脳卒中」「心血管疾患」以外の救急医療についても救急専門医の増員を始め常勤医師の増員に伴い救急患者受入れの体制強化がされています。</p>

(2) 計画敷地

	面積	取得予定時期	取得状況
取得済	37950.86㎡		所有
取得予定	㎡		
計	37950.86㎡		

(3) 計画建物

工事種別	増築
概要	<p>区 域：都市計画悔区域内・市街化調整区域</p> <p>用途地域：防火地域指定なし、建蔽率60%、容積率100%</p> <p>日影規制：有り</p> <p>敷地面積：37,950.86㎡ 11,480坪</p> <p>計画建物概要：耐震構造 地上5階建て</p> <p>各階床面積：5,597.29㎡ 1,693.18坪</p>

(4) 医療従事者

職種	現在の人員（人）			確保予定の人員（人）		
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	
		実人数	常勤換算		実人数	常勤換算
医師	60	47	6.3	10	-	-
看護師	338	32	18.8	70	-	-
その他	419	31	16.6	54	-	-
計	817	110	41.7	144	-	-

確保状況・確保策、確保スケジュール

医師について、70名以上の人員確保を考えています。

当院実績として、招聘活動を行う専門職員を配置し、平成29年度入職常勤医師数15名、平成30年度入職常勤医師数19名、平成31年度入職常勤医師数17名と積極的な採用を実現してきました。

グループに在籍する医師のネットワークから医師招聘、医師求人専用の特設ホームページを設立、医師紹介業者を活用し医師採用を進めてまいりました。また、関東周辺の10大学以上と連携し医師派遣の協力を頂いており、更なる連携強化を図ります。短期的な不足人員に関してはグループ内からの異動で補いますが、中長期的な視点で久喜に根付いた医療を提供するためにも、若手医師の募集も積極的に取り組んでおります。特に地元出身の初期研修医を多く集め、地域医療を継続的に行える医師を育てていくためにも、しっかりとした教育体制の構築が必要と考えております。

グループの主な医師確保については、臨床研修医からの残留が大きなところですが、初期研修医受入数は累計405名、修了者は370名、内3年目以降残留した医師の数は119名と高い水準を維持しています。平成30年度の研修医の定数は、グループ内合計31名です。また、グループ法人内の医師は485名在籍しており、万全のバックアップ体制を確立しています。

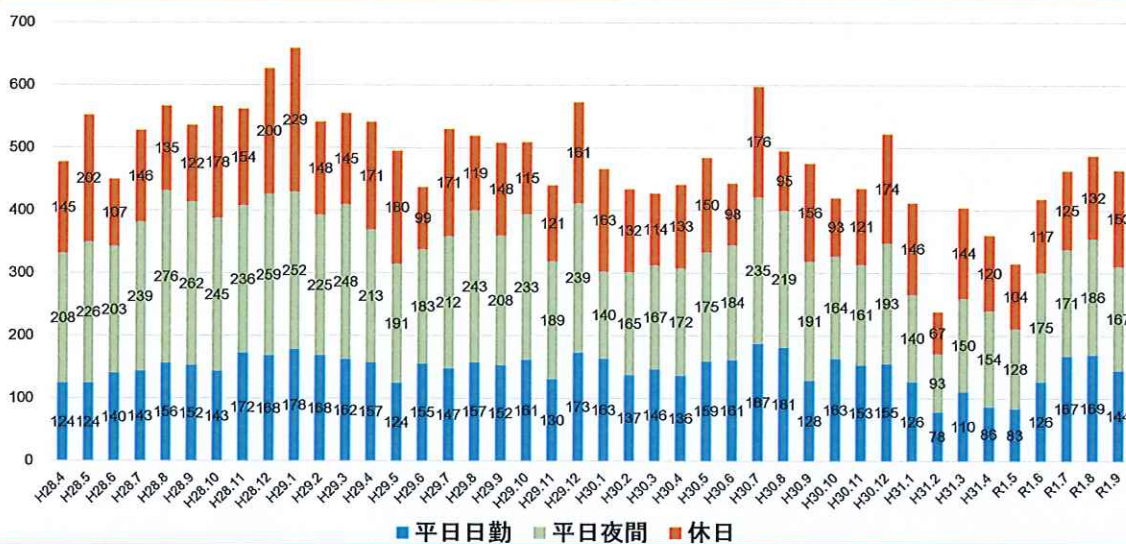
(5) スケジュール

No.	項目	計画年月	備考
1	開設（変更）許可（医療法）	令和2年2月	
2	建築（着工～竣工）	令和2年2月～令和2年12月(10か月)	
3	使用許可（医療法）	令和3年1月	
4	開設（増床）	令和3年2月	

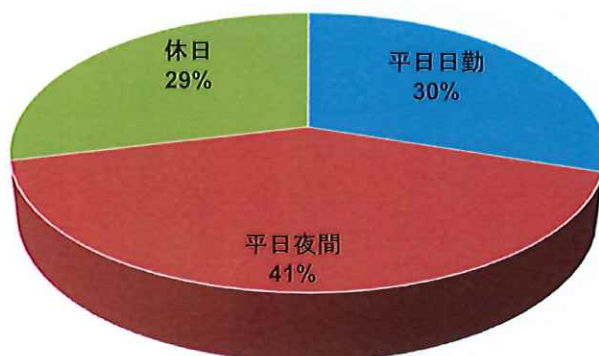
病床整備後の年間診療見込み(増加分のみ)

	中間分類	3桁分類	ICD基本分類の疾病	延べ人数	延べ入院日数	平均在院日数
がん	C15-C26	C16	胃の悪性新生物	60		
	C15-C26	C18	結腸の悪性新生物	60		
	C15-C26	C20	直腸の悪性新生物	60		
	C15-C26	C22/C24	肝及び肝内胆管の悪性新生物/胆道の悪性新生物	48		
	C30-C39/C76-C80	C34/C78	気管支及び肺の悪性新生物/呼吸器の続発性悪性腫瘍	48		
	C50	C50	乳房の悪性新生物	72		
			その他の悪性新生物	84		
	計		432	5,616	13.0	
脳血管疾患	I60-I69	I60	くも膜下出血	84		
	I60-I69	I61	脳内出血	84		
	I60-I69	I62	その他の非外傷性頭蓋内出血	96		
	I60-I69	I63	脳梗塞	96		
	I60-I69	I69	その他の脳血管疾患	36		
		計		396		
心血管疾患	I20-I25	I20	狭心症	120		
	I20-I25	I21	急性心筋梗塞	72		
	I30-I52	I35	非リウマチ性大動脈弁障害	36		
	I30-I52	I44	房室ブロック及び左脚ブロック	36		
	I30-I52	I48	心房細動及び粗動	72		
	I30-I52	I49	その他の不整脈	36		
	I30-I52	I50	心不全	120		
	I70-I79	I70	アテローム硬化症	36		
	I70-I79	I71	大動脈瘤及び解離	96		
	I70-I79	I72	その他の動脈瘤及び解離	48		
	I80-I89	I83	下肢静脈瘤	96		
	I80-I89	I85	食道静脈瘤	48		
			その他の心臓血管疾患	168		
	計		984	11,796	12.0	
救急	E86-E87	E86-E87	代謝障害	24		
	G40-G47	G40-G47	挿間性・発作性障害	24		
	J09-J18	J09-J18	インフルエンザ及び肺炎	48		
	J60-J70	J69	固形物及び液状物による肺臓炎	24		
	J90-J94	J90-J94	胸膜のその他の疾患	24		
	K20-K31	K20-K31	食道・胃及び十二指腸の疾患	48		
	K35-K38	K35-K38	虫垂の疾患	36		
	K55-K64	K55-K64	腸のその他の疾患	48		
	K80-K87	K80-K87	胆のう・胆管及び膵の障害	48		
	S00-S09	S00-S09	頭部損傷	24		
	S20-S29	S20-S29	胸部損傷	24		
	S30-S39	S30-S39	腹部・下背部・腰椎及び骨盤部の損傷	24		
	S40-S49	S40-S49	肩及び上腕の損傷	24		
	S50-S59	S50-S59	肘及び前腕の損傷	24		
	S60-S69	S60-S69	手首及び手の損傷	36		
	S70-S79	S70-S79	股関節部及び大腿の損傷	36		
	S80-S89	S80-S89	膝及び下腿の損傷	24		
	T36-T50	T36-T50	薬物、薬剤及び生物学的製剤による中毒	36		
	T51-T65	T51-T65	薬用を主としない物質の毒作用	36		
			その他の救急疾患	60		
	計		672	6,666	9.9	

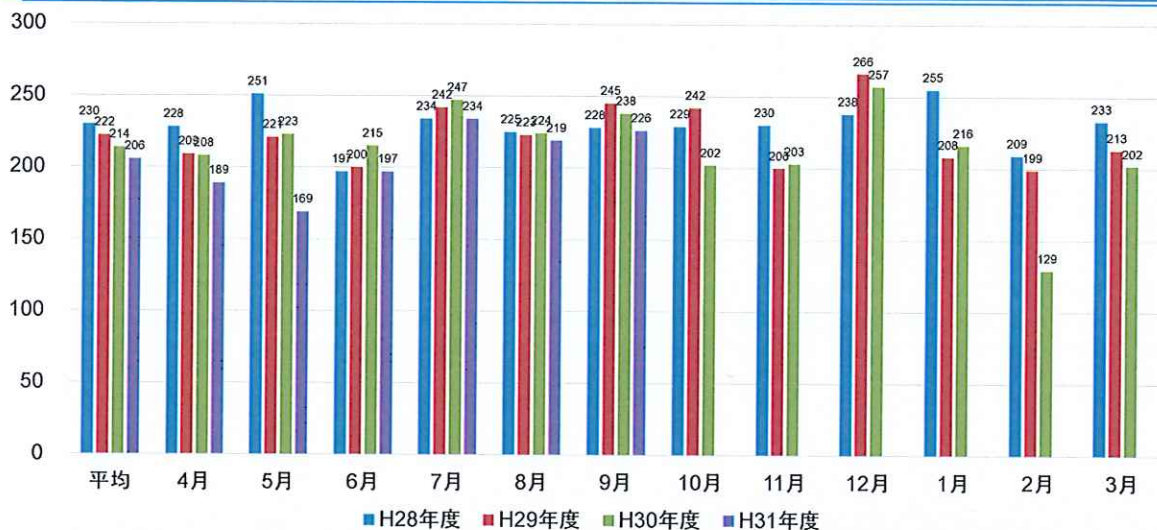
救急車搬入件数(件)内訳



救急車搬入件数時間帯内訳

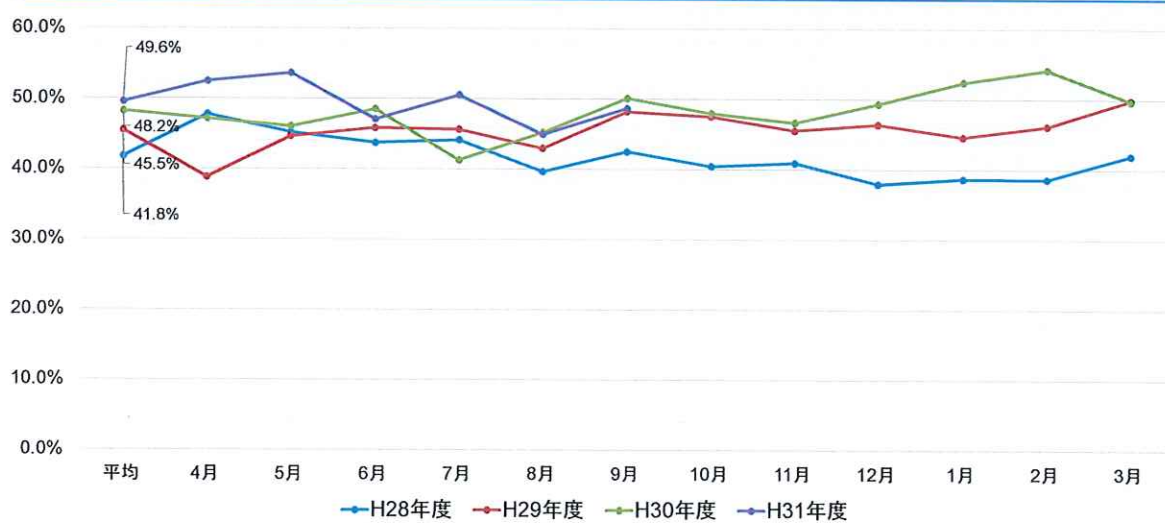


救急搬入患者 入院数



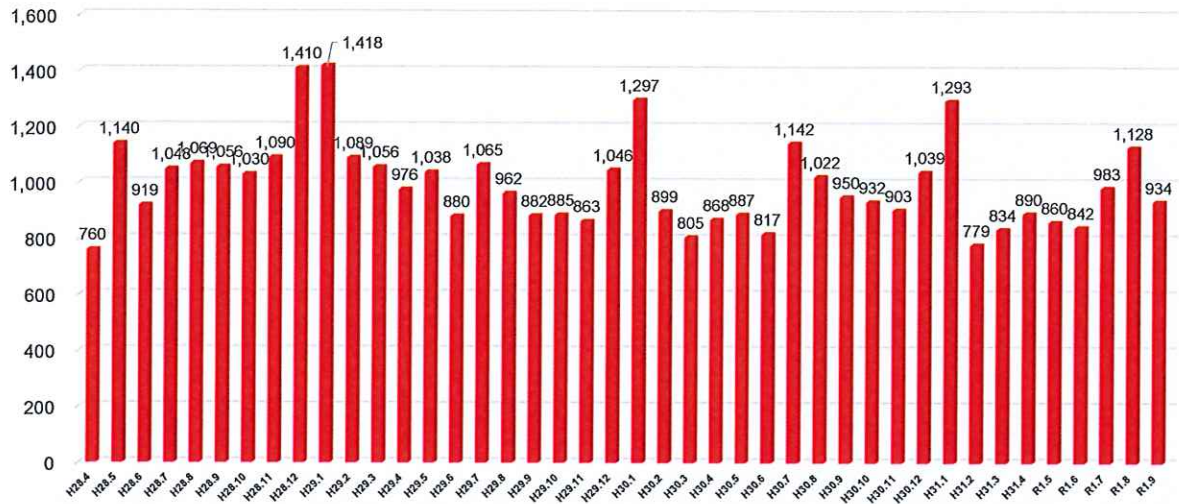
3

救急入院率



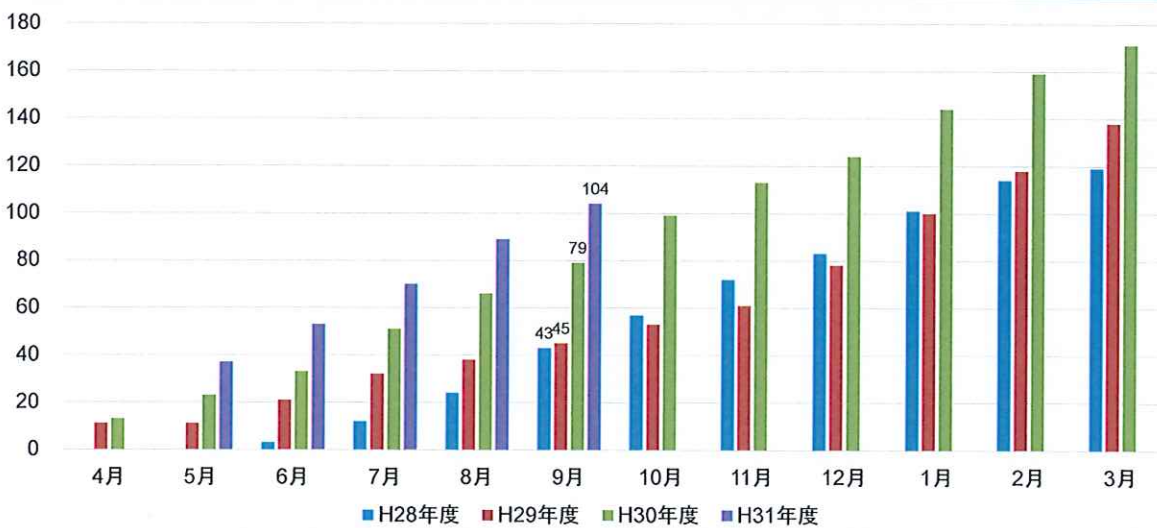
4

救急ウォークイン患者数(人)



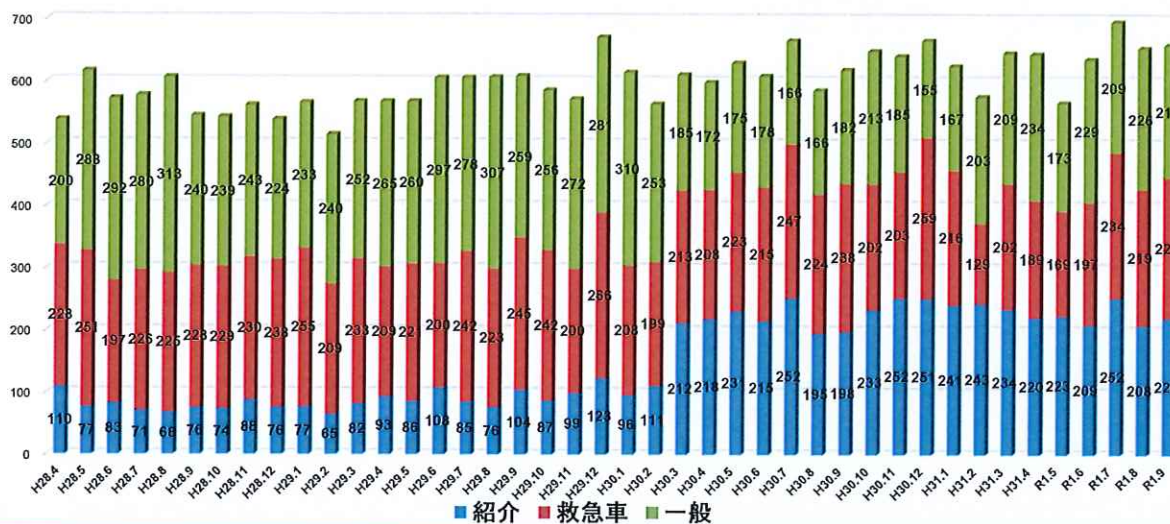
5

病床満床となった日数

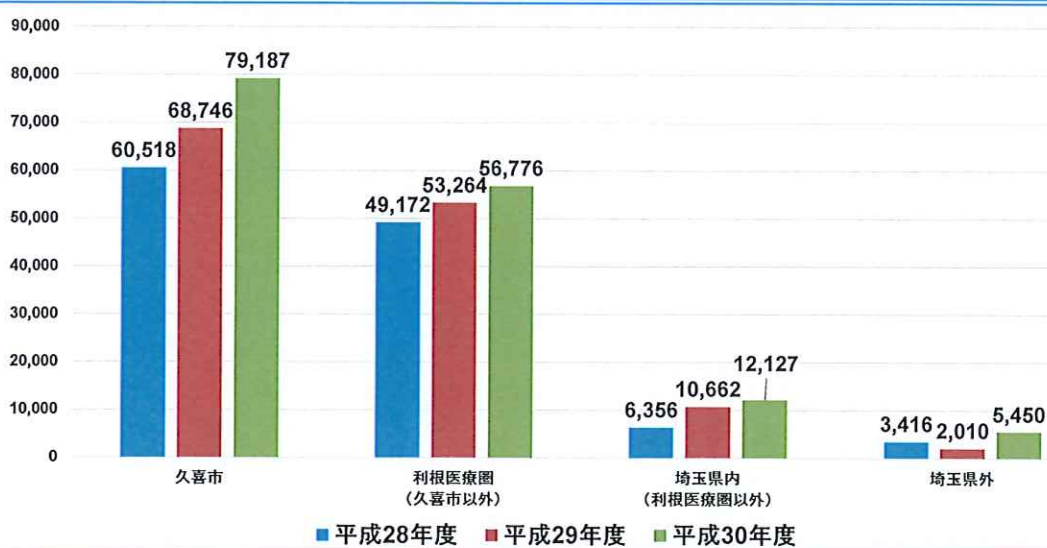


6

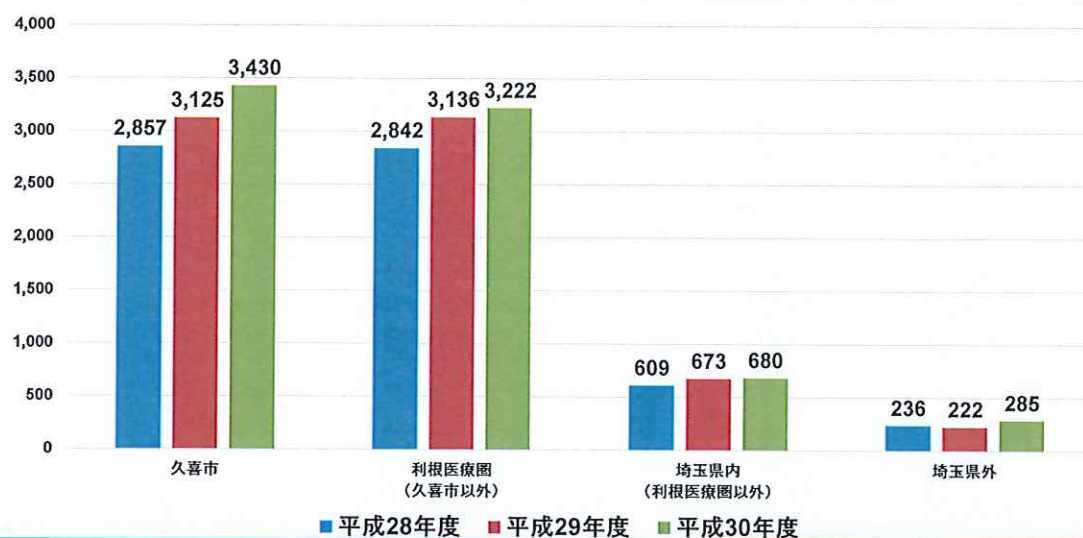
新規入院患者数内訳



外来患者地域別内訳



入院患者地域別内訳



9

病床利用率・平均在院日数

《病床利用率》

	H28.3	H28年度 平均	H29年度 平均	H30年度 平均	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9
一般 病床	57.8% (300床)	95.1% (202床)	95.2% (202床)	96.4% (202床)	97.7% (202床)	98.8% (202床)	97.5% (202床)	98.3% (202床)	98.1% (202床)	97.2% (202床)
回復期 病床	—	99.3% (98床)	99.4% (98床)	99.8% (98床)	99.5% (98床)	99.9% (98床)	100% (98床)	99.8% (98床)	99.9% (98床)	99.7% (98床)
全体 (300床)	57.8%	96.6%	96.6%	97.4%	98.3%	99.2%	98.3%	98.8%	98.7%	98.0%

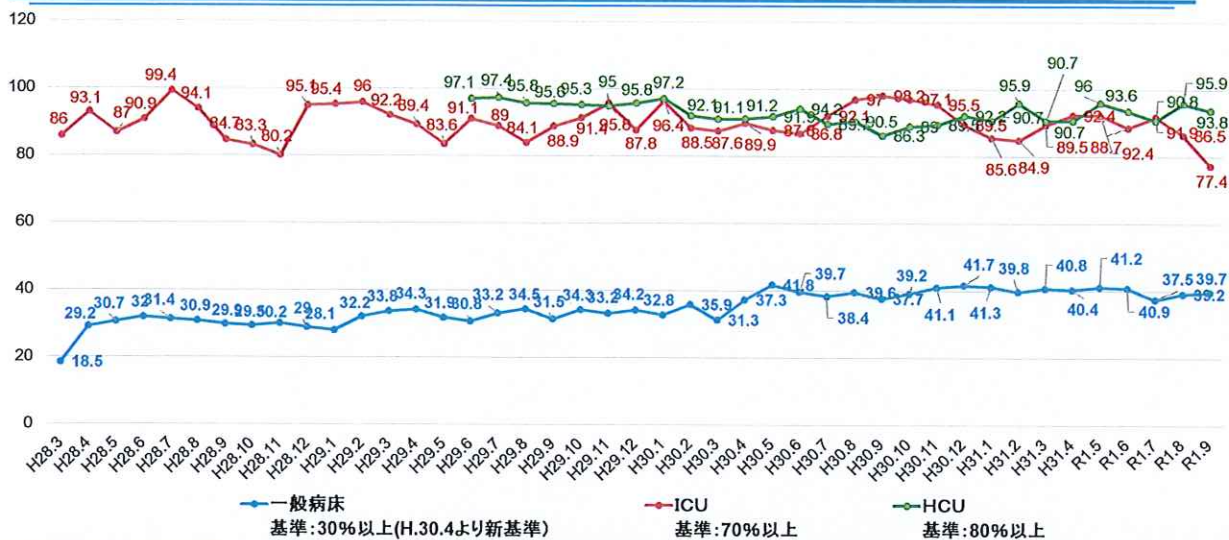
《平均在院日数》

	H28.3	H28年度 平均	H29年度 平均	H30年度 平均	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9
一般 病床	12.4日	10.4日	9.7日	9.4日	9.4日	10.6日	9.3日	8.8日	9.2日	9.0日
回復期 病床	—	-	56.3日	62.9日	62.9日	67.5日	73.5日	57.2日	64.6日	58.0日

10

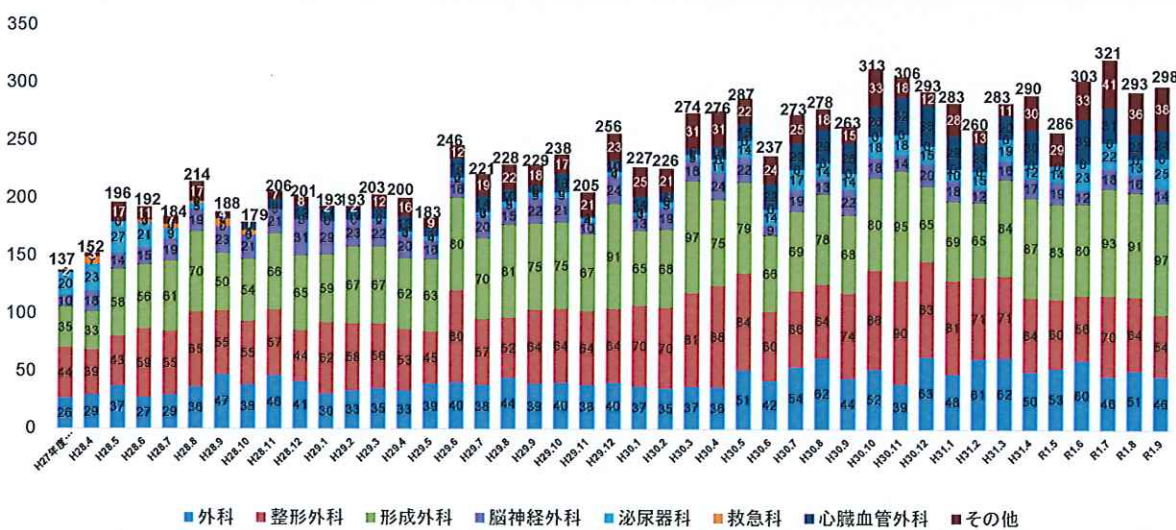
重症度、医療・看護必要度(%)

B-6



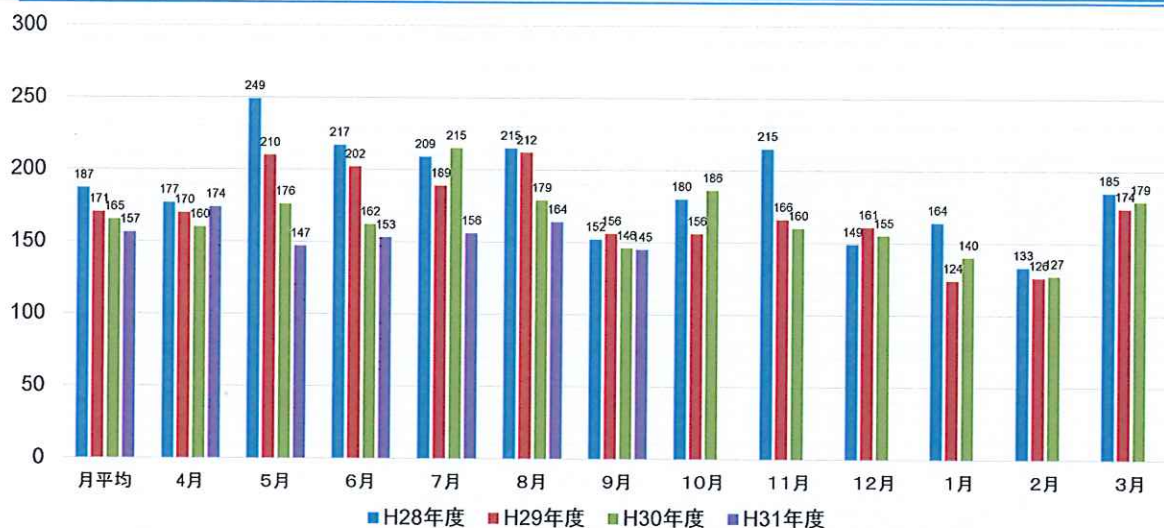
11

手術件数



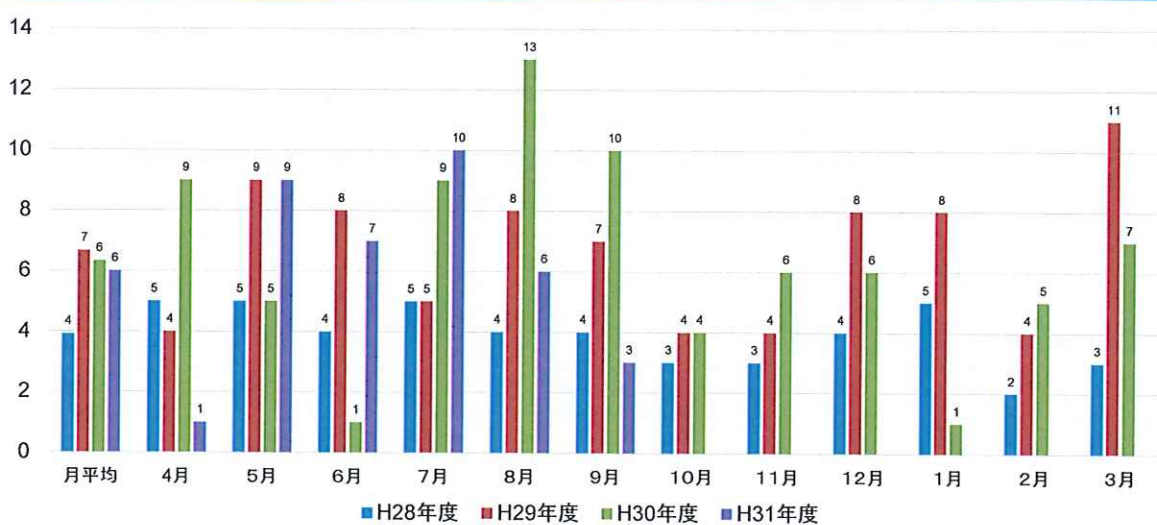
12

小児受け入れ(外来)



13

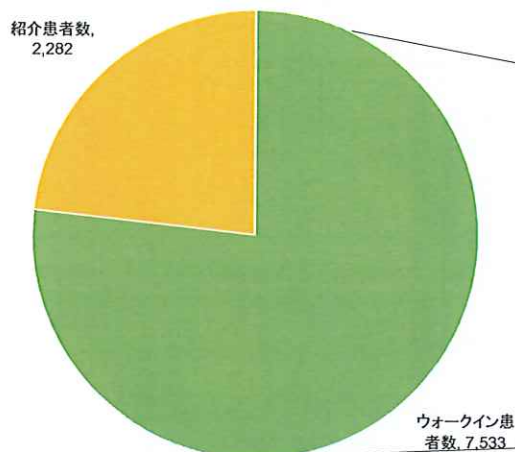
小児受け入れ(入院)



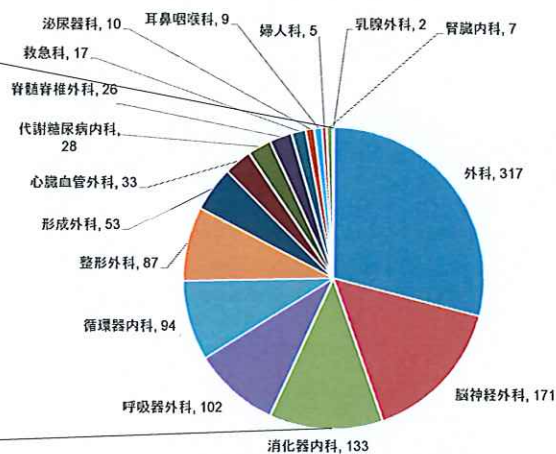
14

救急ウォークイン患者数 H30年度実績

■救急ウォークイン総患者数 総9,815名



■救急ウォークイン入院数 総1,094名



医療機関への転院状況

医療機関名	2017年度		2018年度		2019年度(見込み)	
	総計	月平均	総計	月平均	総計	月平均
蓮田病院	7	0.6	65	5.4	87	7.3
東鷲宮病院	9	0.8	19	1.6	108	9.0
新井病院	30	2.5	41	3.4	60	5.0

*2019年度(見込み)について、転院等の実績にて算出となります。

